

## 「もしもの時に伝えるシート」の活用事例

①一人暮らしで、インフルエンザに罹り、喘息発作で呼吸困難となり救急搬送され、「もしもの時に伝えるシート」を持参していて、家族にスムーズに連絡が取れたと救急搬送された病院の方から好評でした。

②搬送時に「もしもの時に伝えるシート」を持参されていた方がいて、スムーズに連絡が取れたと他区の救急隊から絶賛。

③他区の脳神経外科病院へ救急搬送され、脳神経外科病院「わかりやすくいいですね、大切に持っていてください」と患者様に返されたそうです。

④訪問看護の方が、一人暮らしで身寄りのない方を救急搬送して頂く時に、都島の救急隊の方から「あれ、ありますか？」と「もしもの時に伝えるシート」がありますかと聞かれたそうです。「あります」と伝えると「その情報を見ながら搬送します」と言われ搬送して頂いたそうです。

その方は、身寄りがない方でしたが、前もって大家さんをお願いされていて、緊急時連絡先は、大家さんになっていたそうです。

⑤認知症の方で、いつも通る道なのに行先がわからなくなり、近隣県まで行ってしまい道が分からなく困ってベンチに座っていたAさんを、巡回中のおまわりさんが声をかけ、「もしもの時に伝えるシート」がポーチに入っていたので、連絡が取れ無事に自宅へ送ってもらうことが出来ました。

⑥精神障害のお子様で失語があり、母親も発達障害があり、お子様が退院する際に看護師さんよりシートを勧められて、丁寧に説明もあったとの事でお母さんがとても安心されていました。

お母さんも時々持病で救急搬送されるらしく、いつも搬送時に困っていたようですが、「もしもの時に伝えるシート」を記入して、親子で活用されているそうです。